

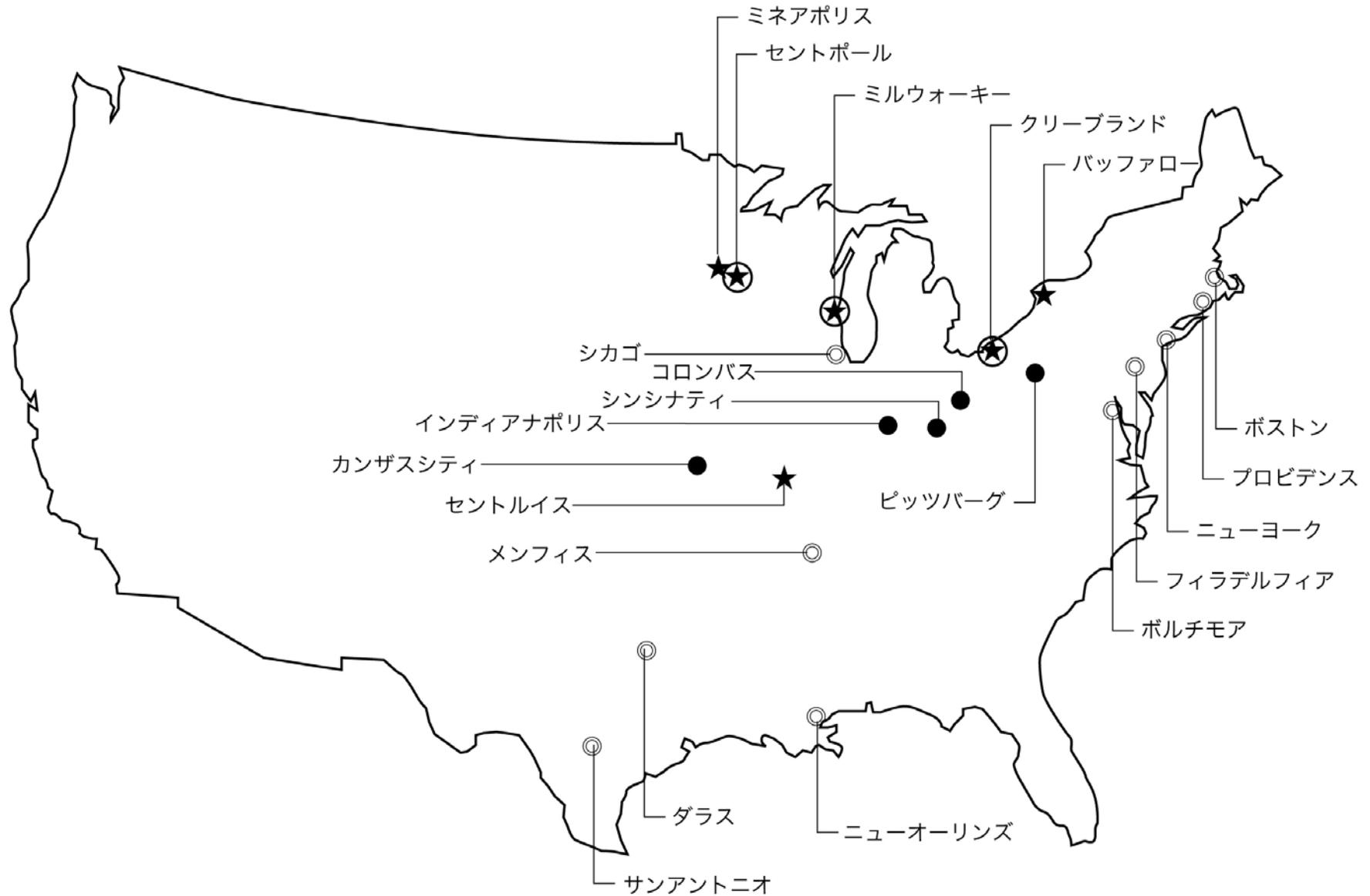


# アメリカ都市におけるアートのまちづくり

Arts, Artists, Art Districts as Catalysts for Neighborhood Revitalization in American Downtown

工学院大学 遠藤新

# はじめに：アメリカ都市の位置



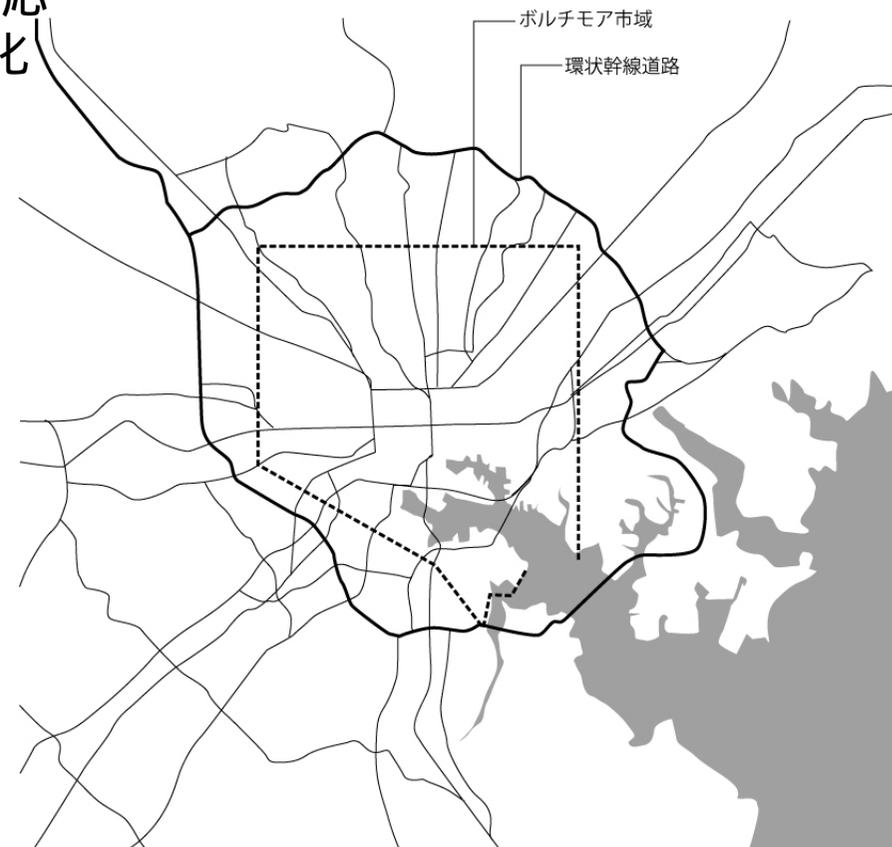
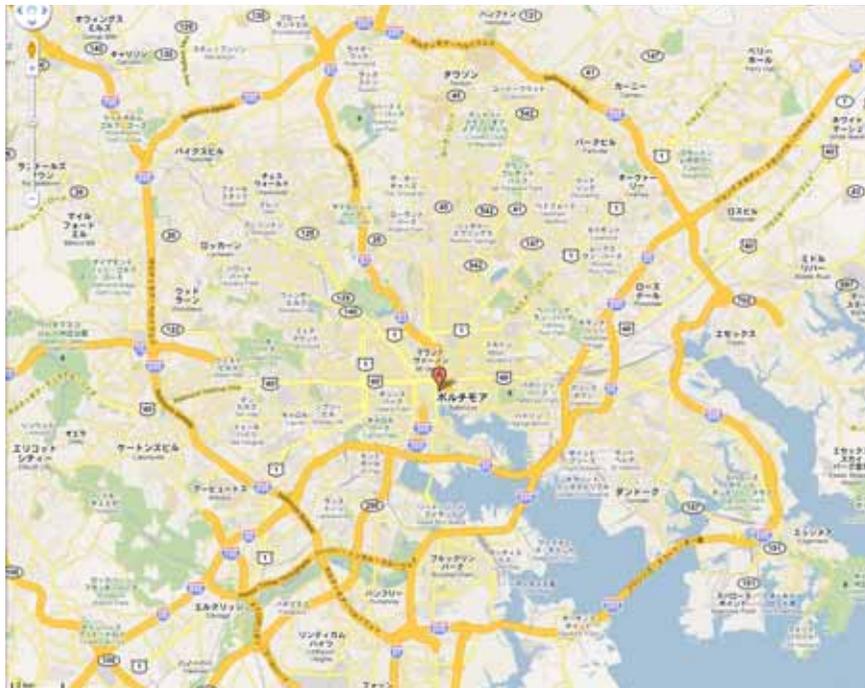
はじめに：アメリカにおけるダウントウン空洞化（中心市街地の空洞化）

## 「都市の郊外化」と「都心の空洞化」

- 急速なモータリゼーション：郊外幹線道路への商業集積等
- 新規住宅需要の拡大：ベビーブーム、退役軍人による住宅需要
- 移民、黒人、若者等の都心大量流入（古い工業都市） 中産階級白人の郊外流出

## ダウントウン再開発の動機

- 自治体税収減への対応
  - ダウントウンの深刻な荒廃(blight)への対応
- Urban Renewal施策による問題悪化



# はじめに：空洞化からの再生・・・「3つの再生現象」と「市街地の断片化」

## • ビジネス街としての再生

- ✓ オフィス・商業等の複合開発、DT型ショッピングモール、等
- ✓ 都市間競争：企業戦略、規制緩和、民活プロジェクト

## • 都心観光の創出

- ✓ 大規模集客施設開発、歴史的資源の活用、ウォーターフロント開発
- ✓ 都市間競争：エンターテインメント空間の創出、DTマーケティング

## • 都心居住の拡大

- ✓ 都心回帰：歴史的建造物等が居住空間として注目
- ✓ 1990年代後半の長期金利低下



## 市街地の断片化 / 米国都市のポストモダン化

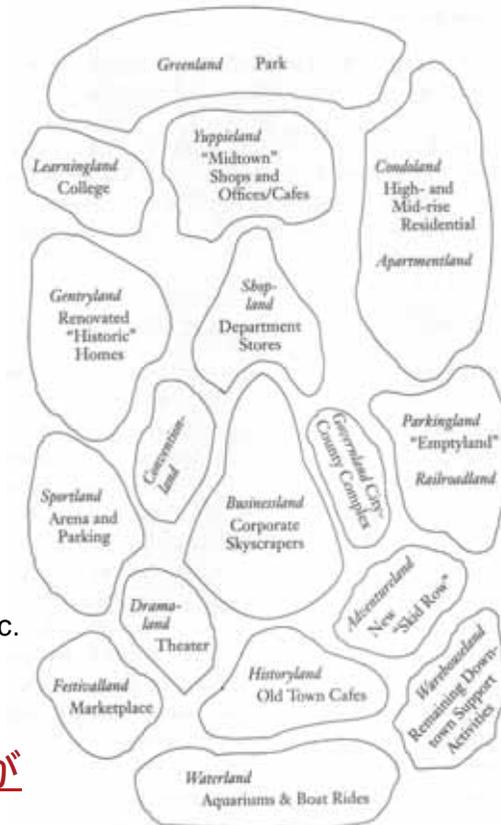
Larry Ford (2003), Edward Soja (1995), Michael Sorkin (1992), Sharon Zukin (1988), etc.

### • ダウンタウンの断片化 (segmentation)

### • テーマパークとしてのダウンタウン

### • テーマ地区の出現：空間的・機能的に共通のテーマを有する建物が集積することにより生成した周辺と異なる面的領域

テーマ地区の出現 (Larry Ford, 2003)



分類	構成要素
オフィス系	超高層オフィス開発、オフィス・商業・ホテル・住宅などの複合開発
商業系	デパート、ダウンタウンモール、商店街の歩行者モール化、フェスティバル・マーケット・プレイス
集客施設系	スポーツ施設（スタジアム、アリーナ等）、文化施設（博物館、劇場等）、コンベンション施設（ホテル、コンベンションホール、展示ホール）、その他のアトラクション（アミューズメントパーク、マリナー等）
居住系	ロフト住宅、コンドミニウム、賃貸住宅、高層住宅
歴史保全系	ランドマーク建築保全（駅舎、劇場、等）、ドヤ街の修復保全、倉庫地区の修復保全、産業遺産の修復保全、近隣住宅地の修復保全
インフラ整備系	高速道路の高架撤去、河川沿いの公共空間整備

## アートのまちづくり：Art District / 芸術地区

### Art Districts components and characteristics (Lawrence(2000)を基に作成)

- a) 歩ける距離に多種多様なアート関連施設・・・美術館、劇場、音楽ホール、専門学校、他
- b) 市民に認知された地区・・・「芸術地区」等の固有名詞で一般的に呼ばれている
- c) 地区全体でのPRやマーケティング・・・地図/パンフ/ウェブ等による発信、イベント等
- d) 共通サービスのためのコスト負担共有・・・地区を基盤とする組織化、BID等の制度利用
- e) アート関連ギャラリーの集積・・・Artists Loftの1Fに併設、本屋や画材等店舗と併設
- f) 居住者としてのアーティスト・・・Artists in Residence、Mixed Income Housing
- g) 商業的なアメニティ・・・レストラン、カフェ、フードコート、娯楽施設、Starbucks等
- h) 周辺とは違う特徴的な公共空間や街路景観・・・地区の中心となる公園、街路バナー等

## アートのまちづくり：Art District / 芸術地区

---

### その他の特徴（現地視察から）

- 歴史的環境が保全され、地区の文化的雰囲気と調和（文化的な雰囲気を強調）
- 芸術家の暮らす街というブランドが、新たな居住者を引きつける
  - エリア内には集合住宅が多い（芸術家住宅に続く、新規開発・コンバージョン）
  - アートが関連ビジネスの機会拡大に貢献：レストラン、カフェ、集合住宅開発、等
- ヒューマンスケールの街、歩いて楽しい街
  - 街路沿いにカフェやギャラリー、屋外パブリックアート、芸術活動に直接触れる機会
- 施設中心の「劇場地区」や「エンターテインメント地区」とは差別化、同じ都市内で役割分担
  - 劇場地区・エンタメ地区・・・観光消費依存型の地区

## アートのまちづくり : Art District / 芸術地区

### Third Ward Art District, Milwaukee

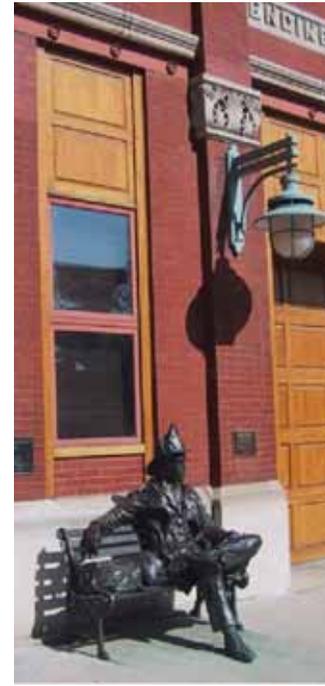
#### Historic Third Ward Association

- 芸術祭(4月/10月)の実施、ジャズ祭(8月)実施

#### ミルウォーキー芸術・デザイン学校

(Milwaukee Institute of Art and Design, MIAD)

- 芸術専攻の学生や若者を地区にもたらず
- リバーウォーク整備協力(資金・デザイン)
- パブリックアート設置、劇場運営
- 芸術学校のキャンパス整備
- 芸術祭(Gallery Night)参加
- サードワード芸術協会の設立  
    バナー設置、地区のプロモーション



Third Ward, a summer sizzle



Gallery Night



## < アートのまちづくり：まちづくりのための多様なプログラム >

### **Arts-based Community Development Programs** (Rhonda Phillips, 2004をもとに整理)

アメリカ都市で行われているアートを活かしたまちづくりのプログラムは主として4種類

#### **Arts Business Incubators**

- 行政や地域団体による支援・助成プログラム等 + 活動のセンター施設整備
  - ✓売上税 %分をアート施策に振り分け 地元アート団体等に助成
  - ✓新規開発時にパブリックアートやギャラリー等の設置を推奨・義務化
  - ✓文化イベントのチケット売上代金一部をアートプログラムの原資として確保
  - ✓州・連邦レベルで活動する芸術関連団体、NPO等民間団体がアメリカには多数存在

#### **Arts Cooperatives**

- 地域の芸術家が作品PR等(Marketing & Promotion)を行うNPO等の組織化、ギルド的組織
  - ✓定期的なアートイベントの開催、アーティスト・イン・レジデンスの開発、等

#### **Tourist Venues**

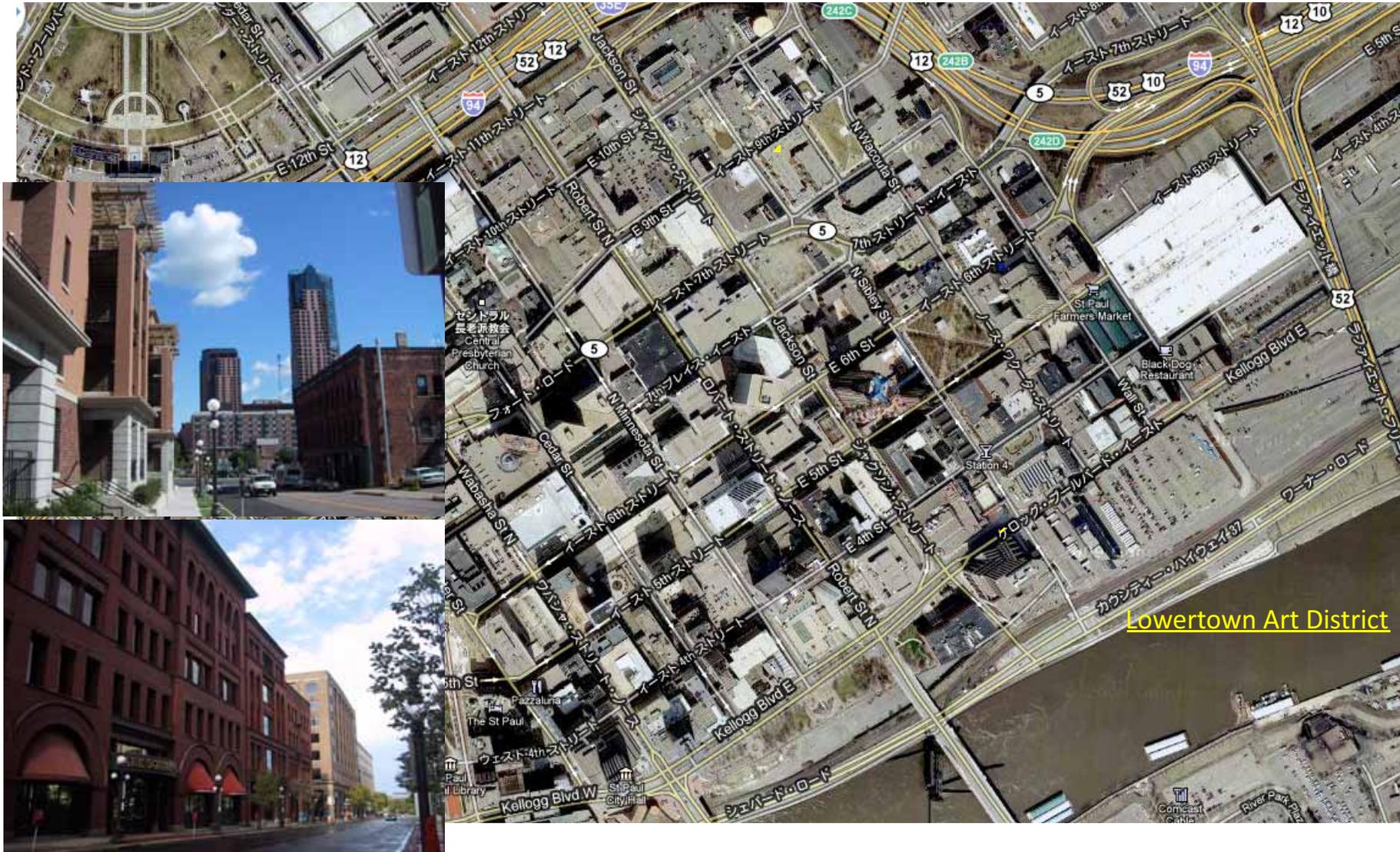
- 荒廃・空洞化した場所を、来街者を惹き付ける場所に転換
  - ✓壁面アート、パブリックアート、等

#### **Comprehensive Approaches**

- アートを一つの要素とする総合的なコミュニティ再生戦略、Art Districtの構想

## Lowertown Art District, St. Paul, MN

- セントポール（人口270,000人）、Lowertown Redevelopment Corporationの活躍
- 地元まちづくり組織がアートディストリクトを構想、AIRの推進, アーティストの活動支援
- アートディストリクトの形成を呼び水にして住宅地区やIT地区などの形成を進めた



# Lowertown Art District, St. Paul, MN

1979年から2003年までに104件の空間整備。芸術地区、住宅地区、IT地区、倉庫地区が形成。



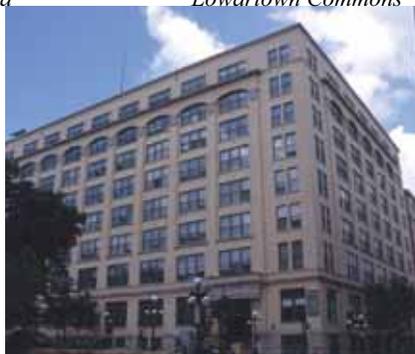
Galtier Plaza



Lowertown Commons



KTCA



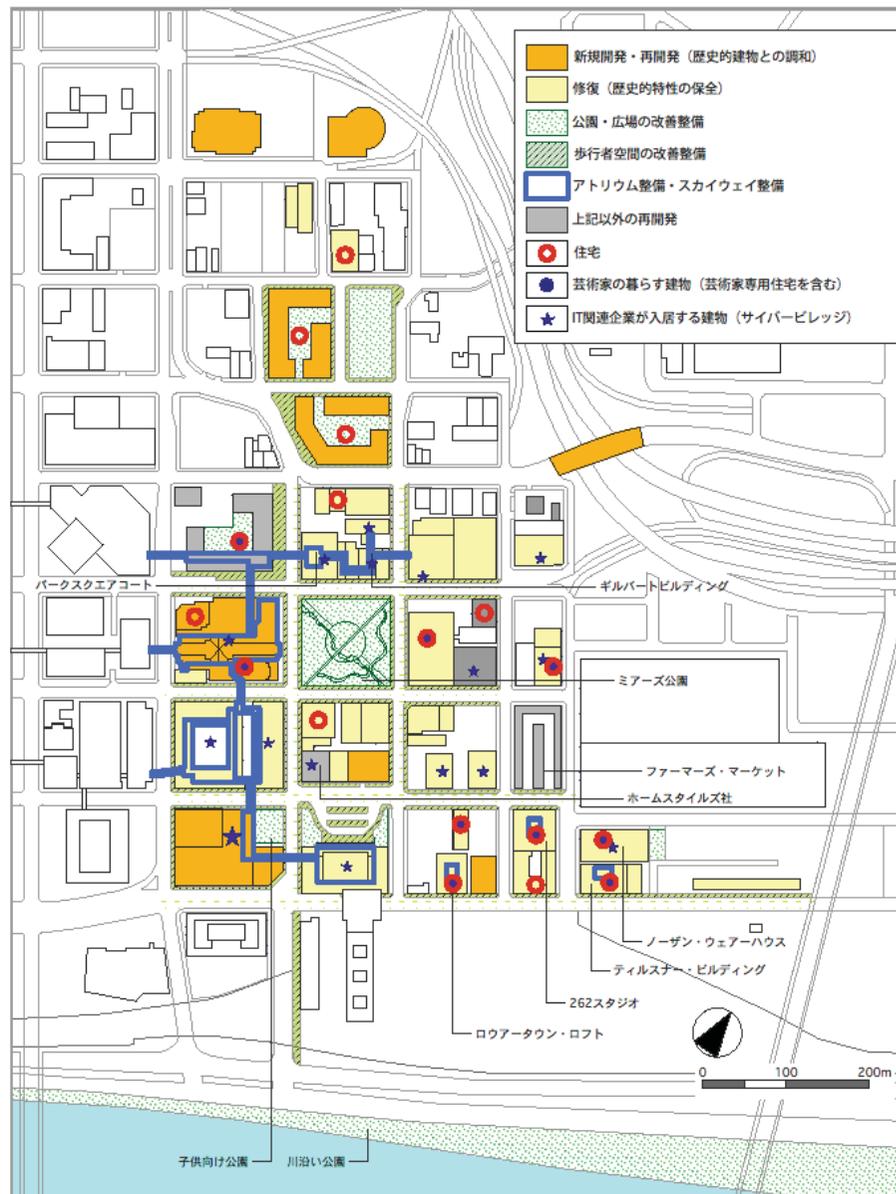
Lowertown Commons



Union Depot



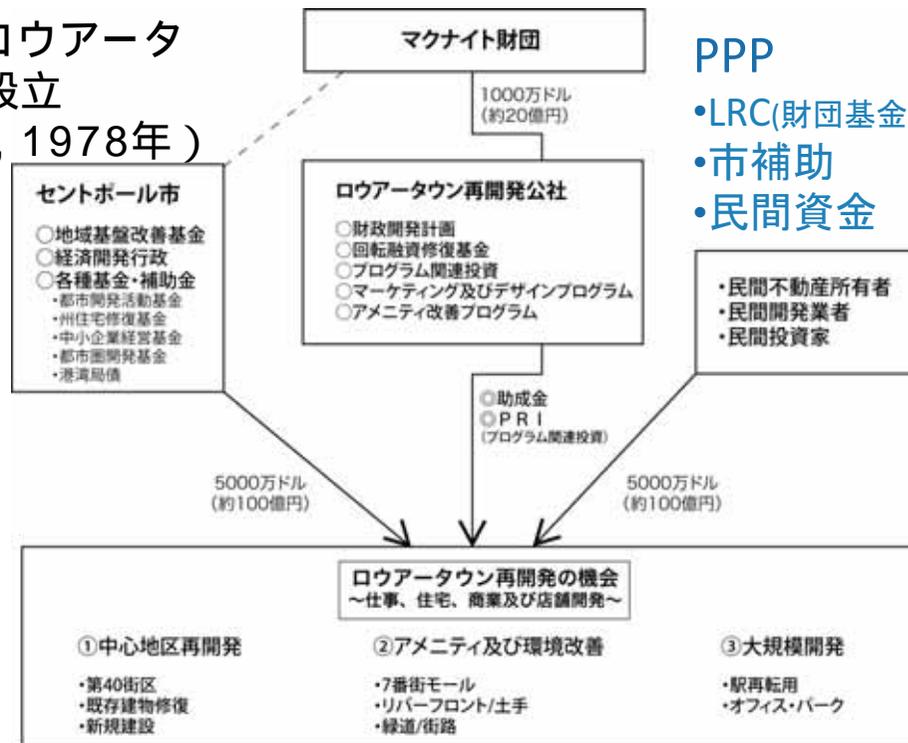
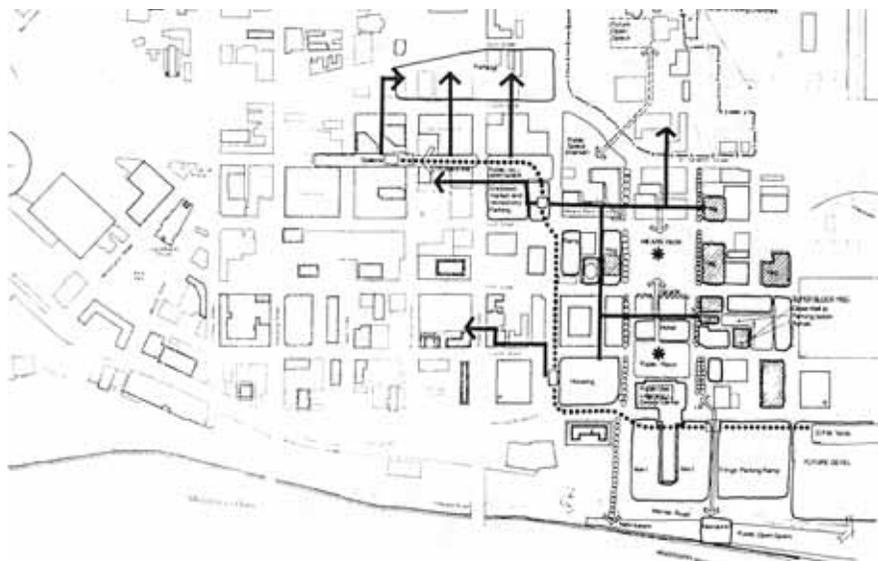
Mears Park



1998年までに住宅1500戸供給、居住254人から2325人に増加、4億3700万ドル超の投資、アーティスト住宅167戸、毎春秋にアーティストがイベント、多数のIT企業等

# Lowertown Art District, St. Paul, MN

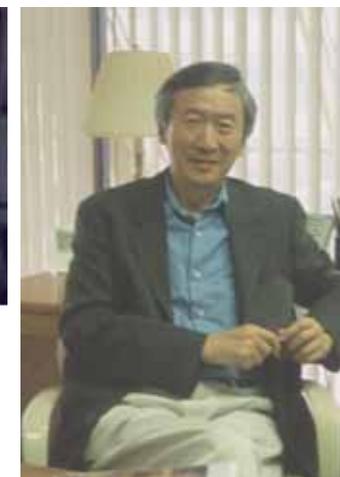
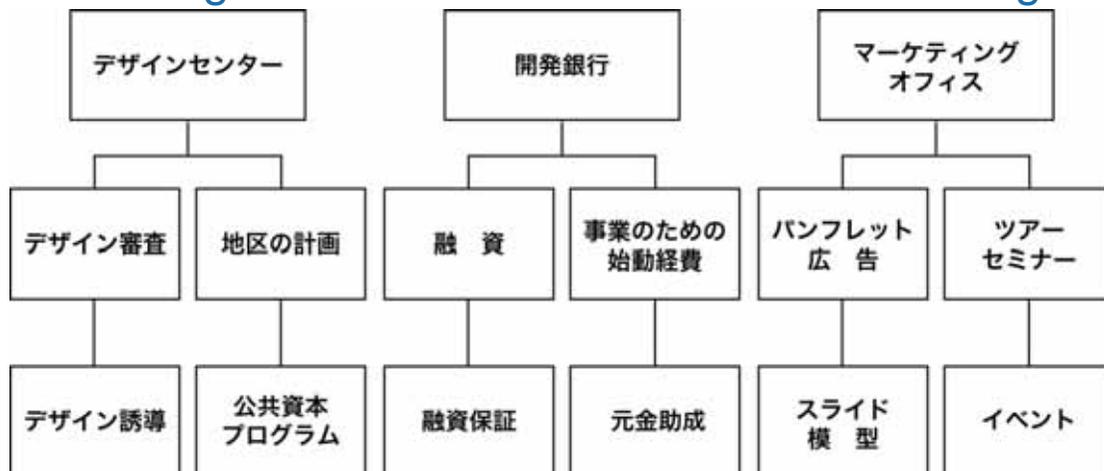
•地元財団から1000万ドルの助成金を得て、ロウアータウン地区での再開発を促進するための会社を設立  
(Lowertown Redevelopment Corp./ LRC, 1978年)



## Design

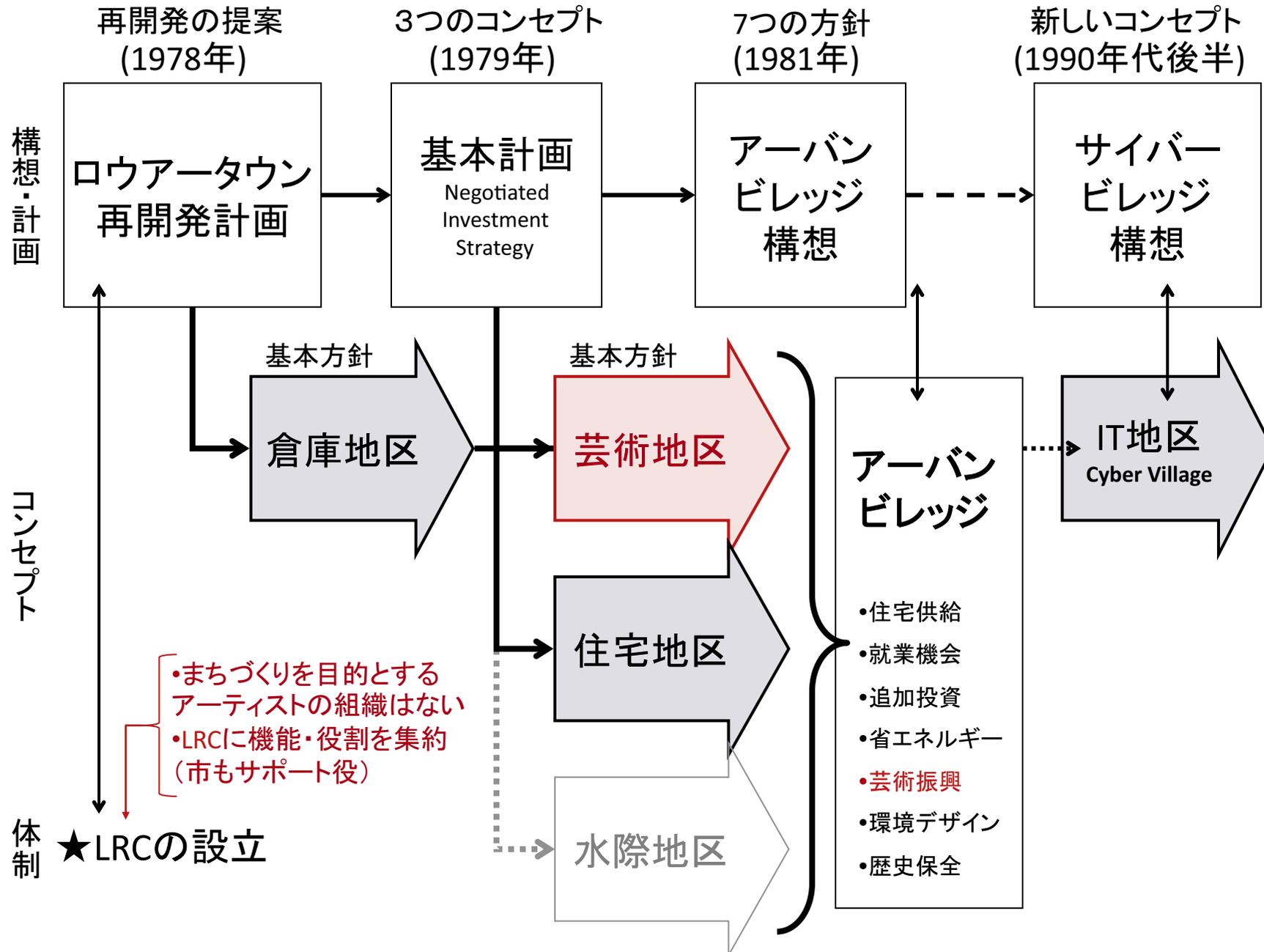
## Finance

## Marketing

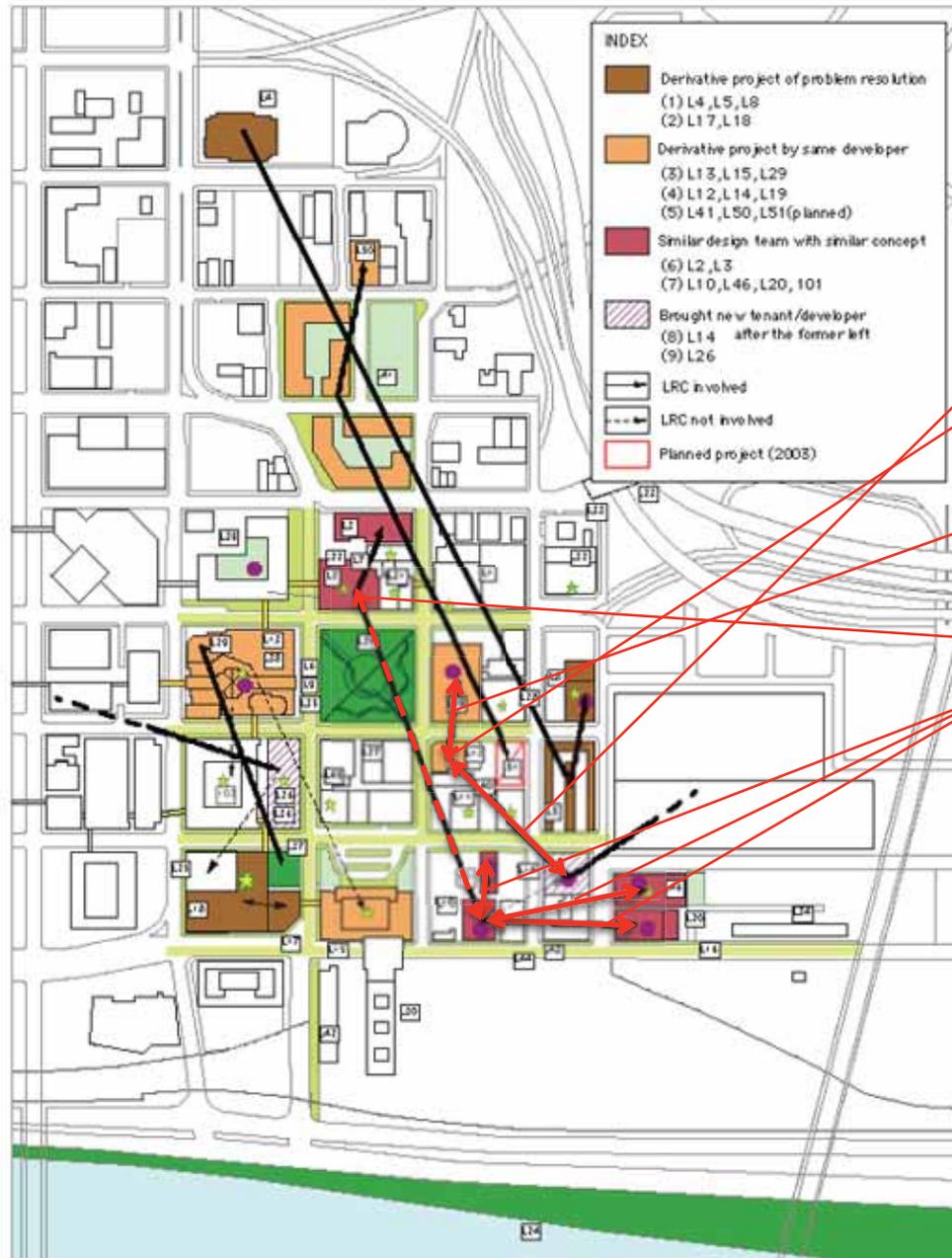


LRCの役割

# Lowertown Art District, St. Paul, MN



# Lowertown Art District, St. Paul, MN



## LRCによるエリアマネジメント

- プロジェクトを連鎖的に実現させる
- 情報集約、継続的関与

### 問題解決による連鎖

- 崩落寸前の建物からアーティストを転居
- 空き建物にデベロッパー誘致

### 融資・マーケティングによる連鎖

- LRC誘致デベロッパーが複数事業を展開

### 成功モデル適用による連鎖

- 倉庫の転用：効率的な空間計画のモデル考案
- 芸術家向けロフト付き住宅の成功と連鎖



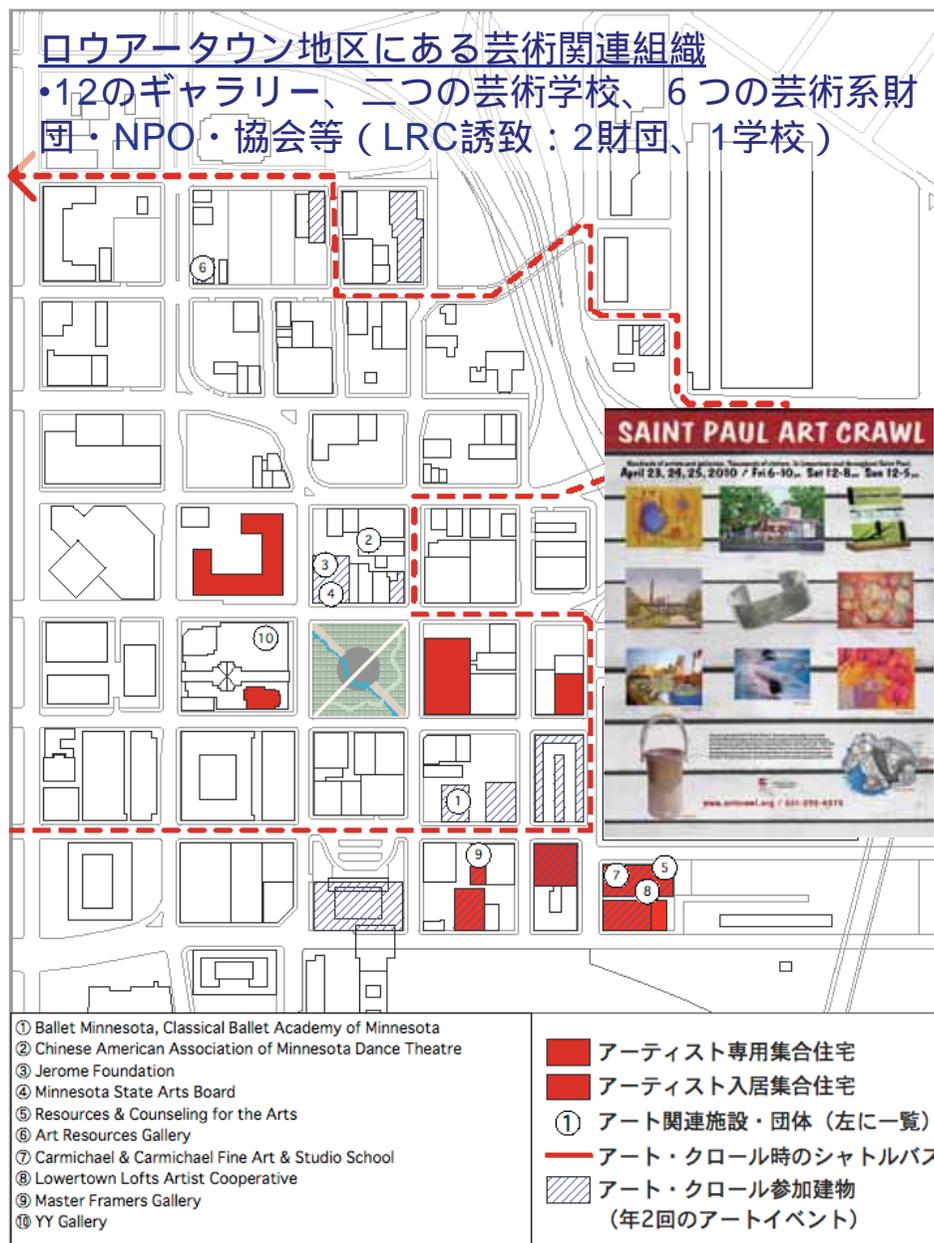
# Lowertown Art District, St. Paul, MN

## 芸術家コミュニティの活動

- パブリックアート制作・設置
- 定期的アートイベント(Art Crawl)

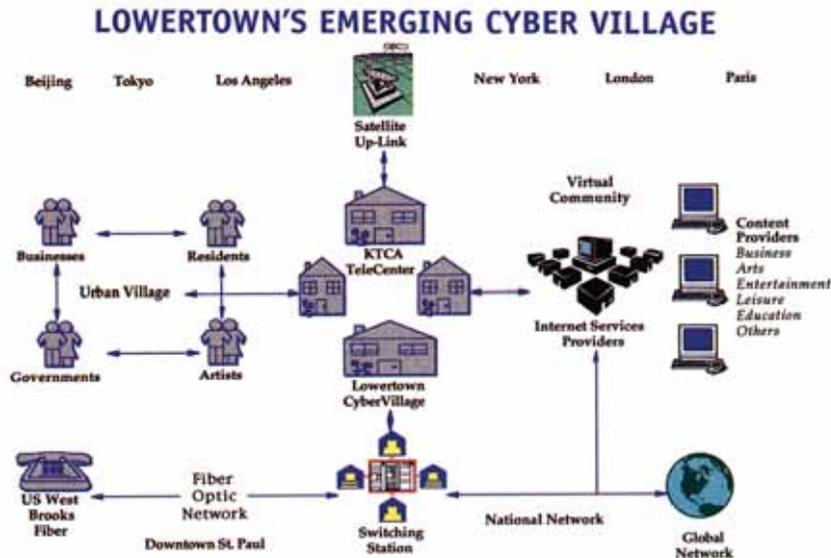
## LRCによる芸術家コミュニティ支援

- 活動助成、活動機会提供
- 芸術関連組織や店舗の誘致



## Lowertown Art District, St. Paul, MN : アート地区からIT地区へ

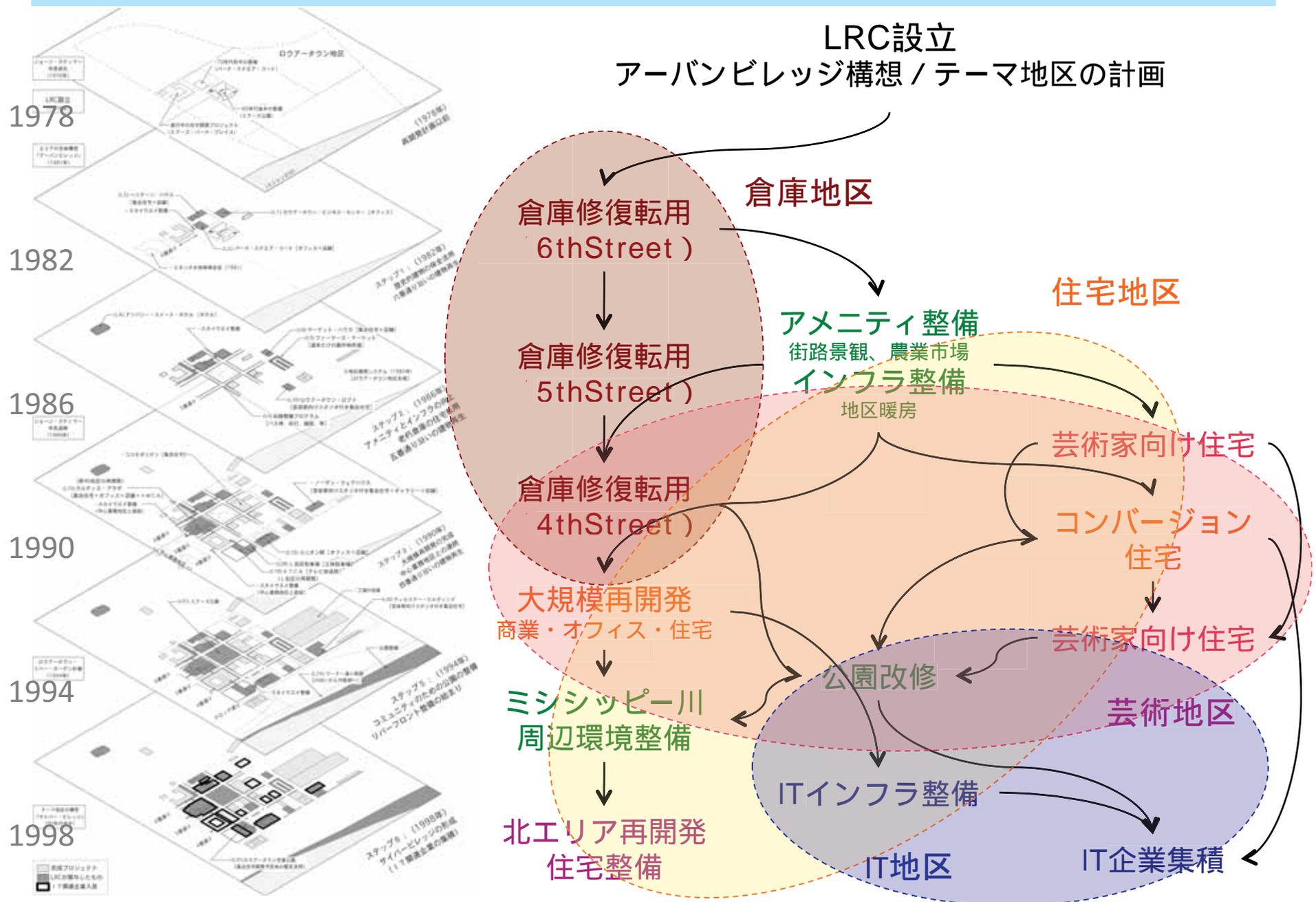
- サイバービレッジ構想の策定（IT企業群の緩やかなビジネスコミュニティ）と実践
  - ✓ソフト面：マーケティング、会員のデータベース作成支援、イベント情報提供、ビジネス情報交換、協同ウェブサイト運用、IT関連学習機会の提供（全72社 / 2001年）
  - ✓ハード面：核企業の誘致（KTCA）、光ファイバー整備の誘致



### サイバービレッジ・コミュニティの基本原則

- 開かれた組織である。
- グループの活動に対する活動的な参加を促進する
- グループを通じて新しいビジネスのつながり、より良いビジネスの繋がりを目指す。
- 活動やイベント等を行う場合はロウアータウンで優先的に行う。
- ロウアータウン地区の物的な資産価値とバーチャルな資産価値の両方を高める。
- ビジネスや活動に際しては道徳的に振る舞うこと。
- 競争を重んじ（respect）、協働を尊重する（value）こと。
- 適切に用いられる限りIT技術は助けになると信じて活動すること。
- 生活・労働・遊びのバランスづくりにつとめること。
- 活動がゆくゆくはコミュニティのためになると信じて活動すること。

# Lowertown Art District, St. Paul, MN : テーマ地区の連鎖的な形成



## まとめと考察 ( 1 )

### Art-based Community Development Programの特徴(まとめ)

#### Arts Business Incubators アート活動の育成

- アーティストを中心に、法律家やプランナーなど他分野の専門家が加わった組織構成。
- 市の主な役割: 助成金、税金インセンティブ制度、ゾーニング修正等。
- グラスルーツの継続的活動支援は、そのエリアを主対象とする「まちづくり組織」が役割を担う。

#### Arts Cooperatives アートの協働

- アーティスト・イン・レジデンスの開発が重要  
→ アーティストの定住・・・まちに活力をもたらす
- アーティストが必要とする設備を(地域と)共有する(→スタジオ、ギャラリー、印刷、暗室、他)
- 定期イベントの開催: 作品発表、顧客のリピート機会確保、アーティストコミュニティの持続機会

#### Tourist Venues 来訪者のための場所づくり

- まちづくりと関わり: 壁面アート、空地の再生(公園、菜園づくり等)、地域住民・子供との協働

#### Comprehensive Approach 総合的なアプローチ

- アートディストリクトの構想をつくるのは市(+まちづくり組織)の役割  
→ ダウンタウンや都市内の他の地区との関係、財源確保などの課題があるためと思われる。
- アートディストリクトが、新たな住宅やスモールオフィスを惹き付ける → 戦略的に誘致する

## まとめと考察（２）

### アメリカ都市におけるアートのまちづくりから何を学ぶか？（考察）

#### ■アートディストリクトはコンパクト

- 歩ける範囲：移動に便利、イベント等でまとめられる（全体を使いこなせる）
- マネジメントできる範囲：エリアマネジメントが機能する、手作りで変えられる、住民等がまとまる
- 無理なく投資できる範囲：市の財政負担軽減、エリアの特徴が際立つ（景観整備や支援制度）

#### ■アーティストを定住させる工夫が課題

- Affordable artists live/work housingを開発する
  - ✓初期投資におけるアーティストの負担軽減：補助金・助成金、長期低利融資
  - ✓長期的な家賃コントロール、維持コストの負担軽減、新規住民や企業との共存努力
  - ✓使いやすいスペース・・・アメリカの場合は天井の高いlive/workスペース
- アーティストの長期滞在地の選択肢の一つになることを目指す
  - ✓まちの魅力、創作活動にプラスの環境、長期不在でも安全安心、活動の拠点がある（舞台等）
  - ✓活動／作品発表機会としてのイベントの継続・・・コミュニティの存在が不可欠（継続力、集積効果）

#### ■アート活動とまちづくり活動の接点は？

- 地域に住み続ける人が、自らの手で、安心安全快適な生活環境をつくる・・・遊び場、たまり場、等
- 地域住民とアーティストが共有できるプログラム・・・子供の教育（ものづくり教育）、定期イベント
- 地域住民とアーティストの共同作品・・・「地域を大切にしている感」が滲み出る
  - ✓「壁面アート」と「落書き」の違い → 後者は破壊的行為、未管理の象徴
  - ✓健全なコミュニティの存在が透けて見える → 安心安全

#### ■アートディストリクトをいかに構想するか？

- 「ディストリクト」は開かれたコミュニティ・・・新しい作家、新しいビジネスやエンターテインメントの登場
- 構想は市や経済団体のイニシアティブが必要、構想の実現には専門のまちづくり組織を設けることが望ましい
- アーティストにとっては創作活動と関係するテーマのみが成立する
  - ✓賑わいづくり、というだけではアーティストの活動テーマにならない